

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年2月16日 (金)  
 NO. 834号 本号3頁

## 来週 21 日参議院憲法審査会開催

### 傍聴監視行動にご参加ください!

参議院憲法審査会は14日の幹事懇談会(写真)で、来週21日の13時から15時までの2時間、今の国会で初めてとなる審査会を開き、憲法に対する考え方について、各会派の自由討議を行うことを決めました。

14日の幹事懇談会で、自民党は来週21日に今の国会で初めてとなる審査会を開き、憲法に対する考え方について、各会派が自由に意見を述べる「自由討議」を行いたいと提案しました。これに対して、共産党と社民党は、「改憲につながるような審査会は開くべきではない」などと主張しましたが、最終的には来週21日に自由討議を行うことを決めました。



安倍自民党が改憲発議を企てているこの年、最初の憲法審査会です。自民党の面々などがどのように発言するかを監視しておくのも大切です。

傍聴を希望される方は20日(火)15までに、憲法会議までFAXか電話で申し込んでください。

FAXは03-3261-5453、電話は03-3261-9007です。当日は12時40分までに参議院議員面会所に集合してください。

### 国会では「存立危機事態が生ずる」、 司法では「想定できない」と主張する 安倍政権の矛盾

現職自衛官が裁判で、憲法違反の安保関連法の定める「存立危機事態」になっても、防衛出動の命令に従う義務はないという確認を求めています。国は「国際情勢に鑑みても存立危機事態の発生を具体的に想定しうる状況にない」「(米朝衝突による存立危機事態は)抽象的な仮定に過ぎない」と主張。一審判決は自衛官の訴えを退けましたが、1月下旬の二審判決は国の主張を「安保法の成立に照らし採用できない」と指摘し、一審判決を取り消し、審理のやり直しを命じました。

立憲民主の枝野幸男代表は14日の衆院予算委員会で、この裁判を取り上げ、国が「存立危機事態の発生を具体的に想定しうる状況にならぬ」と主張していることについて、「二枚舌だ」と批判しました。国会では安保法制を正当化するために北朝鮮などの脅威を強調する一方、司法の場で「想定できない」と主張の使い分けをする安倍政権の姿勢を問いました。

枝野氏は、安倍首相が北朝鮮情勢を「国難」と位置づけて衆院解散をしたことを追及。「(安倍政権は)すぐにも存立危機事態が生ずるかもしれないと言って安保法制の成立を急いだ。しかし一方でそんな具体的な危険はない、と堂々と国として正式に主張している。二枚舌ではないか」と批判しました。安倍政権は司法の場では、自衛官の訴えに正当性がないことを証明しようと、「いつ存立危機事態が発生するか確実なことは言えない」(法務省の館内比佐志訟務局長)と主張していますが、普段の安全保障上の脅威の強調ぶりとこの矛盾が明るみになりました。

### 首相が答弁撤回・陳謝 裁量労働制 法案の前提崩れる

安倍晋三首相は14日の衆院予算委員会で、今国会で成立をねらう「働き方改革」一括法案に盛り込んだ「裁量労働制」(実際に働いた時間にかかわらず、事前に決めた分だけ働いたとみなす制

度)をめぐり、一般労働者より労働時間が短くなるとアピールしていたことについて、「私の答弁を撤回するとともに、おわび申し上げたい」と陳謝しました。

安倍首相は1月29日の予算委で、厚労省の2013年度労働時間等総合実態調査で、裁量制の労働者は1日9時間16分、一般労働者は9時間37分働いていると答弁。「裁量労働制で働く方の労働時間は、平均的な方で比べれば一般労働者より短い」と述べ、時間短縮につながると強弁していました。しかし、この調査は労働者全体の平均値ではなく「平均的な者」の労働時間であり、法定時間に時間外労働を加えて一般労働者の労働時間を長く見せかけるなど、加工されたものでした。

答弁した労働時間データに根拠がないと野党側が追及、撤回を求めています。首相は、「精査が必要になった」と述べ、根拠のない数字を使って答弁したことを認めました。

答弁撤回によって、「働き方」法案の大前提が崩れ、法案提出など許されないことが浮き彫りとなっています。

## 各地のとくくみ

### 兵庫・神戸 秘密保護法、戦争法、「共謀罪」廃止を求め、お昼にパレード

兵庫県憲法共同センターなどは13日、お昼に、秘密保護法、戦争法、「共謀罪」廃止を求めパレードしました。兵庫県弁護士会が協賛しました。

神戸市の三宮花時計前の出発集会で和田進神戸大学教授は、9条2項を残すか削除するなどの自民党内の改憲論議を紹介。「自衛隊の憲法明記の不透明さとともに背後に隠されている危険性を国民の中に訴えて行きたい」として9条改憲阻止を呼びかけました。

和田氏は、トランプ米政権の核態勢見直しとこれを「高く評価」した河野外相談話について、「核を使いやすくすればするほど抑止力が高まるという各抑止論の危険性、異常性を赤裸々に示すもの」と批判。「アメリカの北朝鮮への軍事力行使を何としてもやめさせる立場に日本政府を立たせていくことが必要」と強調しました。

参加した40人は、「9条守れ」「アベ政治を許さない」のプラカードなどを掲げ、元町駅までパレードしました。

### 東京 2月11日 市民の政治学シンポ開催

「新しい政治や社会をつくっていく、胎動が始まっている」 佐々木寛新潟国際情報大学教授

2月11日、「市民と野党をつなぐ会@東京」有志主催で、「市民の政治学」シンポ「民主主義の再出発のために―市民の政治力を鍛える」が、中野産業振興センターで開催されました。会場一杯の120人が参加しました。

佐々木寛さんは、冒頭、「この国の民主主義をつくっていく、あえて言えば、安倍政権に代わる新しい政治や社会をつくっていく胎動が始まっている。普通の市民が、この国に、新しい国をつくらう、という地鳴りのような声があがっている」と述べました。

そして、新潟のとくくみを、次のように報告しました。

今回の衆議院選挙では、新潟の小選挙区全6区で、市民と野党の共闘ができて4つの選挙区で勝利、4勝2敗となった。

選挙直前、希望の党から出る動きがあったが、市民が「希望

の党から出たら許さんぞ！」とみんなで電話をかけた。最初のしこみのところで、市民が政党に食い込んで候補を決める。市民の運動の中に政党を巻き込んでいく。有権者の意見を聞かなくてどうするんだ、政党の基盤は市民にある、と言って話し合った。候補者も選挙の中で変わっていった。選挙は、政治の試験。普段の市民活動やネットワークが重要。私は、市民の皆さんと行政や銀行と一緒にあって、自然エネルギーの開発を行い、今5億円の融資を受け数十キロワットの発電を行うことになっている。普段からみんなで自然エネルギーをつくっていく。その取り組みの中で、人脈も広がった。選挙は、こうした市民活動をどう増やし、人と人のつながりを日常的にどうつくっていくのか、それが試される「政治の試験」である。



(東京革新懇 mailfax ニュースより)

# 憲法会議

# 春の憲法講座

—9条改憲ストップ、生かそう憲法 くらしに政治に!—

安倍政権は通常国会での改憲発議をめざし、予算成立後に憲法審査会に憲法改正案を提出する方針で、党内での意見の取りまとめをすすめています。日本国憲法が最大の危機を迎えようとしています。

一方で、国民の改憲阻止に向けたたたかいは燎原の火のように全国に広がっています。戦争法・共謀罪法反対、衆院選をたたかった市民の共同、市民と野党の共闘が発展し、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)に取り組んでいます。共闘と連帯をさらにひろげ、その力で安倍9条改憲許さず、憲法が生きる憲法どおりの日本の社会と政治を実現しようではありませんか。

今年の「春の憲法講座」です。学びあい、知恵と力を3000万人署名に!

\*講座・講演 **愛敬浩二** 名古屋大学大学院法学研究科教授  
**「安倍9条改憲でどう変わるか」**



\*国会報告 **穀田恵二** 日本共産党国会対策委員長・衆院議員  
**「安倍暴走政治を許さない—国政を語る」**



**と き** 2018年3月4日(日)  
 午前10時00分～12時30分(9時30分開場)

**と ころ** 全国教育文化会館 7F  
 千代田区二番町12-1 TEL 03-5210-3511

**資 料 代** 1000円(学生500円)  
 当日会場にていただきます。

**主 催** 憲法会議(憲法改憲阻止各界連絡会議)

**協 賛** 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/  
 千葉県憲法会議/東京憲法会議



\*事前お申し込みをお願いします。下記へご連絡ください。  
 (定員まで受け付けます。締め切りはホームページでお知らせします。)

◆申し込み・連絡先◆  
**憲法会議**  
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10  
 神保町マンション202  
 TEL03-3261-9007 FAX03-3261-5453  
 Eメール: [mail@kenpoukaigi.jp](mailto:mail@kenpoukaigi.jp)

● 憲法講座受講申し込み書 ●

氏 名	住 所	電 話	ファックス	メールアドレス

と一緒に学びましょう! ぜひ、ご参加ください!